

平成 25 年 11 月 21 日  
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

## 保温できなかったスープ用のポット

### 1. 依頼内容

「ステンレス製のスープ用のポットを購入し、おかゆを保温したところ、表示どおりの保温効果が得られなかった。保温効果が表示どおりか調べてほしい。」という依頼を受けました。

### 2. 調査

当該品は、保温効力<sup>(注1)</sup>50℃をうたった、ステンレス製真空二重構造のスープポットでした(写真1)。

(注1)保温効力とは、室温 20±2℃において製品に熱湯をキャップ下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が 95±1℃の時から 6 時間放置した場合におけるその湯の温度。

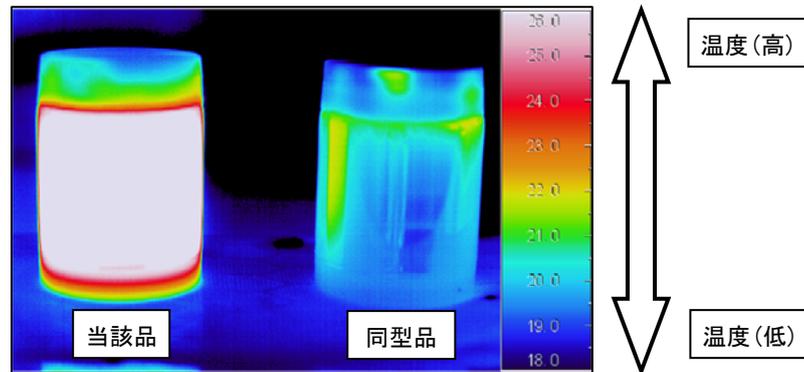
写真1. 外観



外観調査の結果、当該品の使用に伴う傷や、落下による傷、凹みは見られませんでした。そこで、当該品と同型の商品を購入し、日本工業規格 JIS S 2053 「ステンレス鋼製まほうびん」を参考に保温効力の比較を行ったところ、当該品のみ湯温が 50℃以下に低下することがわかりました。

赤外線熱画像装置(サーモグラフィ)を用いて、熱湯を入れた直後の胴部表面温度を比較してみると、当該品は同型品よりも表面温度が高くなっていました(写真2)。これらのことから、当該品は同型品と外観上の差異はありませんが、二重構造である胴部のいずれかに不具合があり、熱が逃げやすくなっているものと考えられました。

写真2. 胴部の表面温度の比較



### 3. 解決内容等

このテスト結果を受け、依頼センターから販売事業者に対してテスト結果を説明するとともに、相談者の返金希望に応じるよう伝えたところ、販売事業者から相談者へ商品代金が返金されました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165